

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	麻生区第4グループ(片平・岡上)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 NPO法人児童育成会コッコロ ・代表者名 菅原 敬子 ・住所 川崎市麻生区岡上120-4	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H27		H28		H27		H28	
	1 片平こども文化センター ①年間延べ利用者数	43,240人	44,660人	②年間延べ利用団体数	815団体	856団体		
2 片平小学校わくわくプラザ ①登録者数	374人	401人	②年間延べ利用者数	18,337人	17,688人			
3 栗木台小学校わくわくプラザ ①登録者数	441人	446人	②年間延べ利用者数	21,364人	22,522人			
3 はるひ野小学校わくわくプラザ ①登録者数	465人	432人	②年間延べ利用者数	18,784人	17,976人			
1 岡上こども文化センター ①年間延べ利用者数	26,226人	25,807人	②年間延べ利用団体数	305団体	335団体			
2 岡上小学校わくわくプラザ ①登録者数	126人	141人	②年間延べ利用者数	10,040人	10,214人			
収支実績	単位:円							
1 収入								
指定管理料	97,348,000							
2 支出								
人件費	78,128,057							
管理費	11,577,031							
事務経費	4,548,000							
その他経費	0							
合計	94,253,088							
3 差引	3,094,912							
サービス向上の取組	全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成を図り、交流の場づくりを行った。また、経費削減へ取り組み、施設修繕や遊具の調達を行うなど、利用者へのサービスの還元を行った。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
	(評価の理由) ・仕様書・事業計画書に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・また、片平こども文化センターでは、定期的にNHKの教育番組に出演したダンスユニットと一緒に児童がダンスの練習を行う事業が行われ、年1回「あさお区民まつり」で児童がダンスの発表する事業が行われている。 ・さらに、今年度は、片平こども文化センターにおいて、近隣所施設との共催で、新たに「かたひらなかよしフェスタ」を実施し、子どものみならず多くの参加者を集め、地域の交流を深めた。 ・岡上こども文化センターでは、「駄菓子屋さん」の実施において、小学生の児童が、駄菓子を自分のお金で買ったり、こどもスタッフとしてお店の手伝いをしたりすることで、金銭感覚を養うとともに、仲間や友達と楽しく食べることで、友達との絆や仲間意識の醸成を促進した。 ・これらの取組により、こども文化センターの利用者は、前年度から約1,000人増加した。 ・また、わくわくプラザにおいては、利用児童の多い施設を多く所管する中、地域の講師を招いた陶芸教室や、科学実験教室などの多くの事業を展開している。				

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	3	3
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
	保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズについては、意見箱やホームページ上での意見受付などにより、利用者の要望を受け付ける他、巡回相談員のための相談箱を設置するなどして、広く要望を受け付ける仕組みを作り、事業の具体的な内容や、集会室の予約方法等、いただいた意見を館の運営改善に反映させている。 特別な配慮を要する児童への対応については、スタッフ間で閲覧できる児童の様子などを記載したノートを作成し、その情報をスタッフ間で共有することにより、児童の状況に応じてスタッフの誰もが一人ひとりに適切な対応を図れるよう工夫している。 また、特別な配慮を要する児童については、保護者からの相談を聞き取り、民生委員など諸機関と連携の上、必要な機関へつないでおり、きめ細やかな対応を行った事例があった。 学校及び行政機関との連携については、片平こども文化センターでは、北部療育センターに隣接する特性を活かし、特別な配慮を要する児童への対応について、きめ細やかに連携ができる体制を整えている。 また、岡上こども文化センターにおいても、地域の「おかがみふれあいまつり」の実行委員会事務局を務め、地域交流への貢献をしている。 運営協議会及び保護者懇談会は、定期的に各施設において実施し、意見・要望を受けて、事業の実施をするともに、円滑な施設の運営を行っている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	3	6
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がなされるとともに、特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。 研修においては、川崎市主催研修に積極的に参加する他、幼児安全救急法研修やアレルギー及びエピベン研修を実施した。 個人情報の取扱については、法人において個人情報保護方針を定めており、その管理は、鍵のかかる保管庫に保管されている。 また、個人情報漏洩の事実はなかった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	4	4
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設設備の保守管理については、施設の日々の点検をスタッフ全員で行い、必要な修繕や補修を行った。また、遊具については、きめ細かな消毒拭き掃除を行い、破損についても目が届くようにしている。 利用者の安全確保については、「児童館における安全対策ハンドブック」を全職員に配布し、安全懸念情報を共有する他、幼児安全救急法研修、アレルギー及びエピベン研修を外部講師を招き、こども文化センター及び区役所内で研修を実施し、職員の受講のみならず、一般利用者の受講も受け、子どもの安全のために必要な情報を地域に還元した。 防犯対策については、法人がマニュアルを作成し、職員会議、勉強会を通じスタッフの意識向上に努める他、防災については、合築施設の老人いこいの家との合同避難訓練を行うなどの取組を行った。 					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・会計処理・金銭処理については適正に行われている。 ・削減できた経費を用いて、修繕を行っており、良好な収支実績と認められる。					

4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

片平・岡上の両こども文化センターは共に、施設内で地域子育て支援センターを実施していることから、当該事業外でも、日ごろからこども文化センターにおいて子育てに関する相談を多く受けており、一人ひとりの利用者と綿密にコミュニケーションをとり、丁寧に対応をする環境が醸成されている。

また、片平こども文化センターでは、そのような利用者とのコミュニケーションから、困難を抱えた家庭の児童について専門機関につなぐという対応を行った実績があり、利用者が安心して利用し、悩みなどを相談できる施設として機能していると評価できる。

さらに、行政機関や地域との連携も十分に行われており、岡上こども文化センターにおいては、地域の祭りの実行委員会事務局を務めるなど、グループ全体において地域に根差した施設運営を行っている点が評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキル向上に努め、職員それぞれが意欲をもって運営改善に努めることで、さらに施設が活性化し、利用者にとって居心地の良い場にしていくことを期待する。

また、今後重要となる中高生の居場所としての事業の充実に努め、本グループのこども文化センターが、片平、岡上ともに老人いこいの家との合築施設である特性を活かし、多世代を巻き込んだ地域拠点としての機能を一層充実させていくことを期待する。